

特集

はたちのつどい

人生の節目とみんなの笑顔

1月11日、20歳の門出を祝う「はたちのつどい」が市文化センターでおこなわれました。輝くような笑顔と華やかさにあふれた「ハレの日」のようすや、人生の特別な一日を迎えた皆さんの思いをお伝えします。



誓いのことば



実行委員長あいさつ



抱負発表



アトラクション



市長式辞



1月11日の朝、文化センター前の広場に晴れ着姿の20歳の方が続々と集まり、友人との再会に歓声を上げたり、家族と記念写真を撮ったりと晴れやかな雰囲気になりました。神栖市で今年、20歳の新たな門出を祝う「はたちのつどい」の対象となるのは978人（2005年4月2日～2006年4月1日生まれ、市外在住者含む）で、757人が出席しました。2022年に成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、成人式が「はたちのつどい」へと名称も変わっていますが、人生の節目を祝う大切な行事であることに変わりはありません。

ほぼ満席の大ホールで、厳かに式典がスタート。今年も企画から当日の進行まで務めたのは、20歳を迎えた実行委員の皆さんです。「誓いのことば」「抱負発表」「実行委員長あいさつ」など、率直で誠実な思いを、会場全体が静かに聞き入っていました。恩師からのビデオメッセージが流れると、歓声や拍手で大盛り上がり。「夢を持って頑張れる人になってくださ

い」「コロナ禍を乗り越えた経験は、これからの人生に大いに役立つでしょう」など熱いエールが送られました。